

駅家学区まちづくり推進委員会

委員長 出原 敬三

（問合せ先） 084-976-5417（駅家公民館）

事業内容

- (1) まなび広場駅家・学区民大学 神楽（2月・中止）
- (2) 健康料理教室 親子孫ふれあい料理教室 ケーキ作り（12月24日）
みそ作り教室（2月10日・2月22日）
- (3) いきいきサロン事業 スマートフォン教室3回連続講座
（10月27日・11月24日・12月22日）
- (4) 環境づくり推進事業 資源回収（9月12日・2月13日）
- (5) スポーツ祭 ソフトバレー／グラウンドゴルフ（12月5日）
- (6) 各種競技大会 グラウンドゴルフ交流大会（10月20日）
少年少女親善球技大会（6、7月・中止）
ターゲットゲーム大会（2月6日・中止）
- (7) 「献血」推進事業（8月25、26日／2月16、17日）
- (8) 安心・安全活動事業 子どもの通学路の見守り（通年）
小学1・3年生交通安全教室（6月）
夏休み子ども見守り活動（中止）
防犯グッズの配布（11月13日）
あいさつ運動…駅家小学校（11月1日）
駅家南中学校（12月8日）
- (9) まちづくり文化祭 中止
- (10) 人権啓発推進事業 住民学習会 中止
役員研修会（講演）（3月19日）
- (11) コミュニティ育成事業 ゴミ分別啓発・納税推進（通年）
- (12) 自主防災活動推進事業 防災研修・防災訓練（中止）
- (13) まちづくり推進運営事業（通年）

成果

前年度に続きコロナ禍における活動となり大きな事業は中止となった。
しかし、「やれる事は工夫してやろう」「延期してでも何とかできないか」
「次年度に向けて考えよう」という前向きな考え方の定着により、新たな講座等
も開催でき各事業部会の前向きな活動が出来た。

課題

過去2カ年コロナ禍で活動を自粛した事業活動は多くあった。
地域イベントが無くなり人流が無くなった事が当たり前となった現在、住民
がコロナ前の「人と人のつながり、交流の場」に戻って来られるかが大きな課題
となっている。



課題解決にむけて

「駅家学区のまちづくりとは何か」を再度念頭に入れ活動をしていきたい。

参加しやすい事業、コロナ禍でも可能な事業等の計画を策定し、地域の方々への活動の周知とともに世代間を超えた交流の場をつくりあげる。

ばらのまち福山，一地域として

1945年（昭和20年）の大空襲により市街地は約8割が消失，戦後の混迷の中1956年（昭和31年）～1957年（昭和32年）にかけ住民がばらの苗1,000本を植えた事から【ばらのまち福山】の歴史が始まりました。

福山市は，ばらを通じて「思いやり・優しさ・助け合いの心」をはぐくんでいく想いがあります。当学区も【ローズマインド】を大きく掲げて取り組んでいます。

ばら写真コンテスト

2021年10月開催



次回コンテスト予定 2022年6月